

## 中山間地域等直接支払い協定集落で集落営農の勉強会を開催！

昨年8月に、日田市内の中山間地域等直接支払い制度の協定集落を対象に、「集落営農」の勉強会を開催したいと思うかどうかの意向調査を行いました。

その結果、勉強会の要望があった集落（34カ所、40集落）での集落営農勉強会を、9月～12月にかけて開催しました。

勉強会の中では集落営農の説明や、島根県津和野町の「農事組合法人おくがの村」の取り組みを紹介したビデオ上映の後、意見交換を行っています。

集落によって圃場条件も異なり出てくる意見も様々ですが、「今何かしなければ」という危機感を持っていらっしゃる方が多数いらっしゃいました。

意見交換の中で、今後の取り組みにつなげるため、まずは、集落の状況を把握するためにアンケートを実施しようということもあり、アンケートの結果報告を基に集落での取り組みをステップアップするために2回目の勉強会を開催するところも出てきています。

今後も「将来にわたってふるさとの農地を守っていくために集落の未来をみんなで考えたい」という集落については、関係機関一体となって組織化に向けた話し合いのお手伝いを行いますので、お気軽に最寄りの関係機関までご連絡下さい。

## 放牧による耕作放棄地の解消実証圃の設置

18年10月に日田市上津江町で、数年間使っていない水田に、近隣の肉用牛農家から放牧牛を借りて実証試験を行ったところ、草丈2m以上のススキ等の雑草は一週間でほとんど採食または踏み倒されました。電気牧柵を使えば省力・安価に放牧地を設置できます。また放牧牛の異常など問題は発生しませんでした。

人の手が入らなくても、牛を放牧すれば雑草はきれいになります。



耕作放棄地対策に悩んでいる方、舌草刈りを試してみませんか？ ↑放牧中の実証圃

詳しくは、農山村振興部 農政班 担当：高橋まで

作成・発行 大分県西部振興局 農山村振興部 集落・水田班  
大分県集落営農推進西部支部  
TEL：0973-22-2585 FAX：0973-23-2219

# 集落営農かわら版

平成19年1月15日 VOL.3  
大分県西部振興局農山村振興部  
集落・水田班  
大分県集落営農推進西部支部

## (農) きりかぶ設立！玖珠中央地区営農組合が法人化！！

### 農事組合法人 きりかぶ

玖珠町の笹ヶ原、早水、瀬戸口、門出の4集落（総水田面積約70ha）では、豊かで潤いのあるむらづくりを目指し、平成15年4月に玖珠中央地区営農組合を設立し、農作業受委託による稲作コストの低減や、農用地の利用集積を行い地域農業の構造改革においても一定の成果を上げてきたところですが、平成19年度以降の国の政策に対応し、持続的な組織運営を図るため、平成18年12月10日に設立総会を開催し、農事組合法人きりかぶを設立しました。

玖珠九重地区において、集落営農組織から法人への移行は初めてとなります。法人を設立するにあたって最も議論した点は、『地域にもっとも適した形態の法人を設立する』ことでした。そのために、発起人会において、関係機関と協議を重ねるとともに、県内外の先進事例を視察し参考にしました。今後は、水稻の栽培に加え、白ねぎ等の園芸品目の導入を計画しており、地域の担い手としての活動が期待されます。



## 集落営農組織、各地で次々に誕生！！

### 玖珠町 田の口営農組合

平成18年6月17日に設立された構成員34戸の組合です。昨年から受託作業を開始して約16haでの収穫作業を行っています。

### 玖珠町 田代受託組合

平成18年6月25日に設立された構成員14戸の組合です。今年度導入したコンバインで7.8haの収穫作業を行いました。

### 日田市 岩美地区営農組合

岩美地区（岩下、入美）では中山間地域直接支払制度を活用して地域おこしのために様々な活動を行ってきましたが、将来にわたって地域の農地を保全するためには集落営農組織の存在が必要という結論に達し、9月23日に設立しました。

### 玖珠町 古後地区営農組合

平成17年度から地区内の8集落70戸、水田面積37.2haを対象に圃場整備が行われています。これを契機に、将来にわたって効率的・安定的な水田農業を確立するため、12月23日に営農組合を設立しました。圃場整備完了までには漸次機械を導入し水田の基幹作業を受託できる体制整備を行う計画です。

### 日田市 高瀬東部地区営農組合(仮称)

高瀬東部地区（大宮町、琴平町、高瀬本町、八幡町）においては、農地の保全と農業の効率的な生産を図るため、集落営農組織設立を検討してきましたが、1月18日に設立総会を開催する運びとなりました。

## 県外優良事例の紹介

11月29日から30日にかけて、集落営農法人化視察研修が行われ、管内の集落リーダー、関係機関担当者など28名が県外の先進組織を訪問しました。当日の視察内容を中心に、先進的な取組を紹介します。

### 島根県 (農) おくがの村

山口県との境に位置する島根県津和野町。市街地から車で20分ほど山間に入った奥ヶ野集落が(農)おくがの村の活動地域です。設立から約20年の間に取組まれた様々な活動やリーダーの糸賀盛人代表のユーモアあふれる講演内容が注目を集め、事例紹介のビデオ教材も作成されています。

組織のテーマは「村の小さな農協」。目的は集落みんなの生活の向上のため、営利を追求しない「農事組合法人」の形態をとっています。水稻の全作業受託費は1反3万6千円(乾燥調製込み)と全国的にみても低価格です。一方で、じいちゃんばあちゃんの仕事がなくなったら悪いということで水田の管理は地権者の仕事になっています。就農研修の受け入れも行っており、3戸が定住しました。定住者の発案から「お金がなくても暮らせる生き方」の追究が始まり、燃料油用のなたねの試験栽培に結びつきました。法人みんなで話し合えるからこそ、新しい発想が生まれそれが実現されていくのです。

経営的には、同じ機械を更新し続け、農協出荷や契約栽培など安定的な取引先を確保するなど、経営リスクを小さくすることで持続できる組織作りを目指しています。「法人はお寺のようなもの。お布施が必要だが集落になくてはならない存在。」とは糸賀代表の談です。



### 広島県 (農) 於手保農場夢21

広島県安芸高田市の吉田町に(農)於手保農場夢21が活動する於手保集落があります。法人化のきっかけはH13年に取り組んだイノシシ等獣害対策。集落全体を困る防護柵の整備事業に取り組みすることで、集落の結束が深まり、翌年には集落全戸の同意により集落法人が設立されました。

集落の法人化はスムーズにいったものの、米価が下がり続ける状況で水稻作だけでは割に合いません。経営の柱になりつつあるのは麦茶、はったい粉などの麦加工品です。当初試みた転作麦の品質が悪くほとんどが等外と評価される中、何か手はないかと集落内で相談したところ、昔集落の大鍋で麦茶を作ったことがあるという方がでてきて、試しに作った商品の評判が良く、今ではJAの直売所で8,662袋を売り上げる商品になりました。



販売促進を兼ねた「こだわり米」の体験農場企画も好評で、多いときには抽選になるほどの人気です。「価格の問題もあるが、おたくの商品はまだ倉庫に残ってます、と言われるより売れてます、と言われた方が作る側はやる気が出る。」とはリーダーの鳥井康義代表の談。失敗例もあるが、収益の上がる品目を持つことは組織運営上必要と試行錯誤を続けています。地区の学校が廃校になるなど過疎・高齢化が進み、水田作業ができなくなりつつある方も出てくる中で、法人を立ち上げていて良かった、と地区内の評価を受けています。

## 県内優良事例の紹介

12月7日に中山間地域集落リーダー育成先進地視察研修を行い、管内中山間地の集落リーダー、関係機関担当者など54名が県内事例の研修を行いましたので、研修先の取組を紹介します。

### 杵築市大田 (農) 南俣水里の農場

H9に営農集団を設立し、米・麦・大豆の基幹作業を受託してきましたが、高齢化が進む中で農地を集積するためにH18、3月に法人化しています。キャッチフレーズは「ほほえみと声かけ合いの里づくり」。

H13から特別栽培米の取組を開始し、化成由来の窒素を30%以下に抑えています。H15には組合員29名のうち24名がエコファーマーになりました。

「合意形成の過程は？」という質問に対して、H9の様子を振り返って「4月から13回の話し合いをして、5/22に営農集団を設立しました。当時の区長が強い信念を持っていました。」と渡辺孝義代表理事が話してくださいました。

熱心に話をきくリーダー&関係者→



### 豊後高田市田染蒨 ふき活性化協議会

「ふき活性化協議会」は、地区内の全住民参加型のコミュニティ組織であり、農業生産面では「農事組合法人ふき村」、地域づくり面では2つの自治会の協力を得ている他、体験交流宿泊施設等とも連携して、農業と観光が調和した地域づくりを進めています。こうした取組みが認められ、本年度の農林水産祭むらづくり部門で最優秀賞にあたる天皇杯を受賞しました。

農業生産面では「農事組合法人ふき村」が3集落1農場方式により地区の農業生産を担っています。企画部会、作業部会、オペレーター部会、合鴨部会、女性部会で構成されており、通常の農業生産だけでなく、ふんご合鴨の生産振興や農産加工直売所「蓮華」を核とした加工・直売の取組を行う等、農業の6次産業化を進める組織となっています。



### 紹介組織の概要

(農) おくがの村	
総戸数	27戸
参加戸数	20戸
農地面積	35.2ha
うち水田	30.3ha
主な活動	
作業受託	71.0ha*

\* 延べ面積

(農) 於手保農場夢21	
構成員数	21名
利用権設定面積	17.7ha
水稻作付	7.3ha
麦類作付	3.5ha
主な活動	
麦加工品販売*	8,662p

\* 麦茶、はったい粉等

(農) 南俣水里の農場	
総戸数	45戸
参加戸数	29戸
利用権設定面積*1	4ha
水稻1、麦3、大豆2ha	
主な活動	
作業受託	20ha*2

\*1 法人化初年度

\*2 収穫のみ

ふき活性化協議会	
総戸数	89戸
(農)ふき村組合員	60戸
// 準組合員*1	8戸
// 作付面積*2	41.9ha
水稻作付	13.8ha
麦類作付	18.6ha

\*1 不在地主等

\*2 大豆・そば・なばな等を含む